

(高齢者祝福礼拝)

- * 「私の助けは、天地を造られた主から来る。」(121:2) 山を見上げる時、信仰者は、山を造られた方、また山のずっと奥に天地を造られ、私をも造られた神を見る。その神からすべての助けは来ることを信じる。
- * 「あなたを守る方は、まどろむこともない。」(121:3) 主は一瞬の間も見逃すことなく私を守られる、また主と共に歩む民を守られる。
昼夜を分かたず、すべてのわざわいから守られる。最も大切な命までも守られる。(121:5~7)
- * 「主は、あなたを、行くにも帰るにも、今よりとこしえまでも守られる。」(121:8) 「行くにも帰るにも」とは、次のような意味が考えられる。
1. エルサレムへの巡礼の行き帰り。旅行の往復。2. 朝起きてから夜寝るまで。すなわち日常の務めや自分に与えられた働き。3. 生まれてから死ぬまで。私たちの人生すべてにわたって。
モーセは約束の地カナンに入ることはできず、120歳で死んだが、「行くにも帰るにも」、すなわちその「出入り」は十分に主に祝福されたものであった。(申命記31:1~7参照)
- * 「今よりとこしえまでも守られる」さらに死の先まで主は私たちを守られる。永遠のいのちをもってこそ、本当の主の守りがある。そのためには、今、私たちはイエス・キリストを救い主として信じる事が求められる。